

自己点検・自己評価報告書

【令和7年度】

国際アカデミーランゲージスクール

1. 教育理念・目的・教育目標等

- 1-1 教育理念・目的・教育目標が明確に定められているか
- 1-2 教育理念・目的・目標が教職員及び生徒に周知されているか
- 1-3 教育理念・目的・目標に基づく教育を行っているか

2. 日本語教育機関の運営

- 2-1 認定日本語教育機関認定基準又は日本語教育機関の告示基準に適合しているか
- 2-2 管理、運営のための諸規定が整備され効果を上げているか
- 2-3 予算編成が適切になされ、その執行ルールは明確か
- 2-4 短期及び中長期目標が教職員間で周知されているか
- 2-5 運営や教育活動に必要な情報を教職員間で共有しているか
- 2-6 教職員のコンプライアンス意識を向上する取り組みが行われているか
- 2-7 関係各庁への届出、報告を適切に行っているか

3. 情報公開

- 3-1 機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開しているか
- 3-2 募集及び納付金に関する情報を公開しているか
- 3-3 入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っているか
- 3-4 情報は十分に整理されて公開されているか
- 3-5 公開されている情報は更新され最新のものであるか

4. 入学者の募集と選考

- 4-1 教育目標に合致した募集計画を立案し、実行しているか
- 4-2 入学選考基準及び方法が定められ、適切な体制で入学選考を行っているか
- 4-3 機関所属の職員が入学希望者に対して情報提供や入学相談を行っているか
- 4-4 受け入れるコースの教育内容が入学志願者の日本語能力とニーズに合致していることを確認しているか
- 4-5 入学志願者の情報を正確に把握し、提出された根拠書類を確認しているか
- 4-6 海外の送り出し校と連携を深め、生徒に関する書類内容以外の情報も共有しているか
- 4-7 海外の送り出し校が行う募集活動が適切に行われていることを把握しているか
- 4-8 入学金や授業料等の納付金についての説明とその返還規定について説明がきちんと行われているか

5. 教育活動

- 5-1 理念と教育目標達成のためのカリキュラムを編成しているか
- 5-2 体系的なカリキュラムが編成されているか
- 5-3 教育内容、教育方法について、教職員間で同様に理解できているか
- 5-4 当該学期の学習内容及び学習予定等を生徒に開示しているか
- 5-5 出席簿で正確に出席状況が記録されているか
- 5-6 教育活動について生徒からの評価システムも導入されているか
- 5-7 理解度に応じて、補講や学習相談等が適切に行われているか

6. 学習の評価、課程の修了認定

- 6-1 成績の判定方法と修了認定の条件を明確に定め、教職員と生徒に周知されているか
- 6-2 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか
- 6-3 評価システムを改善していくための体制が整い、実行できているか

7. 教職員

- 7-1 校長、主任教員、その他の本務等職員、非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定め、かつ周知されているか
- 7-2 教育目標達成に必要な教職員の能力及び資質を明示しているか
- 7-3 教職員の能力と資質を向上させることを目的として研修が体系的に行われているか
- 7-4 教職員評価は上位者からだけでなく学生からの評価も含んだものになっているか
- 7-5 所属する職員全体に対し、振り返りや自己評価の機会を設け、成果の確認を行っているか

8. 生徒支援

- 8-1 入国時の各種手続き等、生活に必要な各種手続きの支援体制が整っていて有効に機能しているか
- 8-2 生徒の健康面、精神面、事故等に対応できるサポート体制が整っていて有効に機能しているか
- 8-3 快適に過ごせる寮の部屋の準備と環境支援、指導ができているか
- 8-4 母国での送り出し校と常にやり取りし、問題発生時には素早く家族への連絡と相談ができ、解決できる体制が整っているか
- 8-5 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか
- 8-6 母語または十分意思疎通ができる言語による支援がなされているか
- 8-7 生徒の希望する進路を正確に把握し、その指導に関する体制が整備され、有効に機能しているか

9. 在留資格管理と指導

- 9-1 我が国の法令を遵守させる指導を適切に行っているか
- 9-2 在留期間更新や在留資格変更等の手続きにおける支援が適切に行っているか
- 9-3 在留資格上問題がある生徒に対し、適切な指導が行われているか
- 9-4 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者を発生させないための取組を継続的に
行い発生を防いでいるか
- 9-5 仙台出入国在留管理局から在籍管理優良校の認定を受けているか

10. 施設・設備

- 10-1 学校が目指す教育活動に相応しい施設及び整備が整えられているか
- 10-2 施設及び設備の管理、保全のための体制が整えられているか
- 10-3 情報システム化等、業務の効率化が図られているか

11. 地域貢献・社会活動

- 11-1 留学生が地域に馴染めるような活動をしているか
- 11-2 行政・各種機関、事業所等に対し、留学生理解を深めてもらう活動を行っているか
- 11-3 地域の小中高等の教育機関の国際理解教育活動に参加しているか
- 11-4 地域の日本語教育に関わる活動をしているか

12. 財務

- 12-1 財務状況は、中長期的に安定しているか
- 12-2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか
- 12-3 適切な会計監査が実施されているか

日本語教育機関名：国際アカデミーランゲージスクール

点検・評価実施日：令和8年03月31日

実施責任者：校長 阿部 由香

実施担当者名(役職)：梢 麻衣子(主任教員), 関 光南(事務総括部長), 野田 貴子(総務経理総括)

【自己点検・自己評価について】

教育の水準の維持向上、運営の改善を図るため、毎年1回年度末に実施責任者及び実施担当者で自己点検・自己評価を行う。実施後は速やかに公表する。

自己点検・自己評価は、以下の4段階評価で行う。

A：「達成されている」

B：「ほぼ達成されているが不十分なところがあり改善に取り組んでいる」

C：「できていないことが多い」

D：「できていない」

自己点検・自己評価を行った後、実施責任者及び実施担当者は今後の改善点について話し合いを設け、そのための方策をとりまとめた後、年度の初めに全職員、教員に周知する。

1. 教育理念・目的・教育目標等		
点検・評価項目		評価
1-1	教育理念・目的・教育目標が明確に定められているか	A
1-2	教育理念・目的・目標が教職員及び生徒に周知されているか	A
1-3	教育理念・目的・目標に基づく教育を行っているか	A
【現状・具体的な取り組み/課題】 教育理念・目的・教育目標等に関しては認定日本語教育機関申請に際し、改めて一部見直しを図った。理念に関しては、今後教室に張り出すなど（各国語訳共に）、生徒への浸透を図る。		

2. 日本語教育機関の運営

点検・評価項目		評価
2-1	認定日本語教育機関認定基準又は日本語教育機関の告示基準に適合しているか	A
2-2	管理、運営のための諸規定が整備され効果を上げているか	B
2-3	予算編成が適切になされ、その執行ルールは明確か	A
2-4	短期及び中長期目標が教職員間で周知されているか	A
2-5	運営や教育活動に必要な情報を教職員間で共有しているか	A
2-6	教職員のコンプライアンス意識を向上する取り組みが行われているか	A
2-7	関係各庁への届出、報告を適切に行っているか	A

【現状・具体的な取り組み/課題】

就業規則の一部見直しは7年度末より始まったところで、中途半端になってしまい、整備されているとは言えない状態になってしまった。6月までには完成させ、職員に徹底させたい。予算、短期、中期目標等の周知に関しては更に計画的に毎年時期を決めて行っていこうと思う。コンプライアンス意識向上に関しては学校から生徒に対するSNS等のプライバシー保護に関する規程を固め誓約書を取り交わす予定。

3. 情報公開

点検・評価項目		評価
3-1	機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開しているか	A
3-2	生徒募集及び納付金や返還規定に関する情報を公開しているか	A
3-3	入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っているか	B
3-4	情報は十分に整理されて公開されているか	B
3-5	公開されている情報は更新され最新のものであるか	A

【現状・具体的な取り組み/課題】

海外の送り出し機関や入学希望者に対しては、英語や現地の言葉で情報を提供しているが、ホームページにおいて外国語の対応がまだできていない。8年度中に英語と、本校に在籍者の多いネパール語に対応できるよう取り組む。ホームページの情報に関しては、教育内容に関し、不十分な部分があり、認定日本語教育機関申請におけるカリキュラムに応じた教育内容を今後盛り込む予定。

4. 入学者の募集と選考		
点検・評価項目		評価
4-1	教育目標に合致した募集計画を立案し、実行しているか	A
4-2	入学選考基準及び方法が定められ、適切な体制で入学選考を行っているか	A
4-3	機関所属の職員が入学希望者に対して情報提供や入学相談を行っているか	A
4-4	受け入れるコースの教育内容が入学志願者の日本語能力とニーズに合致していることを確認しているか	A
4-5	入学志願者の情報を正確に把握し、提出された根拠書類を確認しているか	A
4-6	仲介料が高額な海外の送り出し機関を排除できているか	A
4-7	海外の送り出し機関に入学希望者が支払う必要経費の内容や金額を把握しているか	A
4-8	海外の送り出し機関が行う募集活動が適切に行われていることを把握しているか	A
<p>【現状・具体的な取り組み/課題】</p> <p>入学資格や選考基準などを明確に希望者に伝えられている。入学選考に関しては、基準に基づく書類審査を行った上で、校長が現地での面接（8割）とオンラインによる面接（2割）を行った。海外の送り出し機関とは電話やメールでのやり取りも頻繁に行っており、年間に渡る現地の募集活動についても把握できている。書類の内容以外にも入学希望者の様子を連絡してもらっており、今年度は入学選考通過者の2名に関し、その後の現地での学習、生活態度から申請をキャンセルさせたいとの旨連絡を受け、申請を断った事例があった。</p>		
5. 教育活動		
点検・評価項目		評価
5-1	理念と教育目標達成のためのカリキュラムを編成しているか	A
5-2	体系的なカリキュラムが編成されているか	A
5-3	教育内容、教育方法について、教職員間で同様に理解できているか	A
5-4	当該学期の学習内容及び学習予定等を生徒に開示しているか	A
5-5	出席簿で正確に出席状況が記録されているか	A
5-6	教育活動について生徒からの評価システムも導入されているか	A
5-7	理解度に応じて、補講や学習相談等が適切に行われているか	A
<p>【現状・具体的な取り組み/課題】</p> <p>カリキュラムは体系的に編成され、各クラスに日々の学習内容が掲示してある。定期的に教務会議で内容に関する調整を行ったり、評価に関しても検討を重ねている。また、年度末には生徒に授業アンケート（教員別）を行い、担当教員には年度末の面談にてフィードバックしている。</p>		

6. 学習の評価、課程の修了認定		
点検・評価項目		評価
6-1	成績の判定方法と修了認定の条件を明確に定め、教職員と生徒に周知されているか	A
6-2	各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	A
6-3	評価システムを改善していくための体制が整い、実行できているか	A
<p>【現状・具体的な取り組み/課題】</p> <p>成績の判定方法と修了認定に関しては入学時オリエンテーションと定期的に担任授業時間での説明を行っている。必要に応じ再試等も適切に把握し実施できていた。又、年度末には修了認定に関するミーティングを行い、その際に評価システムに関する問題点等の検討も行っている。</p>		
7. 教職員		
点検・評価項目		評価
7-1	校長、主任教員、その他の本務等職員、非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定め、かつ周知されているか	A
7-2	教育目標達成に必要な教職員の能力及び資質を明示しているか	B
7-3	教職員の能力と資質を向上させることを目的として研修が体系的に行われているか	B
7-4	教職員評価は上位者からだけでなく学生からの評価も含んだものになっているか	A
7-5	所属する職員全体に対し、振り返りや自己評価の機会を設け、成果の確認を行っているか	A
<p>【現状・具体的な取り組み/課題】</p> <p>在職年数に従って、必要な能力や資質の内容を明示しなければならないところ、体系的に確認できるものは作成できておらずOJT、言葉での説明にとどまっている。これは早急に取り組み必要な課題である。現在勤務している本務等教員は在職年数が長いのでなんとかなってきてしまった。今後、新任の教員が入った際にも対応できる指針として本校職員としての職務、担任業務に関する職務、能力や資質に関し、詳細に明示したリストの作成を今年度中に完了する。振り返りや自己評価に関しては、全教職員に対し年度末に校長が行っており、その結果を基に次年度の目標設定をすることになっている。</p>		

8. 生徒支援		
点検・評価項目		評価
8-1	入国時の各種手続き等、生活に必要な各種手続きの支援体制が整っていて有効に機能しているか	A
8-2	生徒の健康面、精神面、事故等に対応できるサポート体制が整っていて有効に機能しているか	A
8-3	快適に過ごせる寮の部屋の準備と環境支援、指導ができていますか	A
8-4	母国での送り出し校と常にやり取りし、問題発生時には素早く家族への連絡と相談ができ、解決できる体制が整っているか	A
8-5	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	A
8-6	母語または十分意思疎通ができる言語による支援がなされているか	A
8-7	生徒の希望する進路を正確に把握し、その指導に関する体制が整備され、有効に機能しているか	A
<p>【現状・具体的な取り組み/課題】</p> <p>入国時のサポートは住民登録、銀行口座開設、自転車購入、マイナンバーカード作成と担当者を中心に滞りなく行うことができた。この際、日本語教師養成講座の運営機関と協力し、受講生の方数名にアルバイトとして手伝ってもらったのだが、留学生サポートは非常に貴重な経験だったとのこと。寮に関しては職員による清掃や生活のルールの指導を徹底している。進学に関しては担任の指導業務と、学校担当ごとの指導業務の二つを柱としてスムーズに指導できており、専門学校進学100%（4名の就労ビザ変更を除く）をかなえることができた。</p>		
9. 在留資格管理と指導		
点検・評価項目		評価
9-1	我が国の法令を遵守させる指導を適切に行っているか	A
9-2	在留期間更新や在留資格変更等の手続きにおける支援が適切に行っているか	A
9-3	在留資格上問題がある生徒に対し、適切な指導が行われているか	A
9-4	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者を発生させないための取組を継続的に行い発生を防いでいるか	A
9-5	仙台出入国在留管理局から在籍管理優良校の認定を受けているか	A
<p>【現状・具体的な取り組み/課題】</p> <p>法令遵守についての指導は日頃から担任が中心となり、オリエンテーション以外でも徹底して行っている。警察から生徒の法令違反に関する連絡は受けなかった。在留資格更新に関しては、卒業生に対してもサポートしている。在留資格上問題がある生徒（生活態度）が1名出てしまったのだが、送り出し機関、家族と協力し、指導しながら段階を追ってしっかりと話げできた。結局は帰国となってしまったが、適切に対応できた。また、帰国後の学費返還等も現地送り出し機関の協力のもと滞りなく終了。本人と校長も直接メール等でやり取りできた。</p>		

10. 施設・設備		
点検・評価項目		評価
10-1	学校が目指す教育活動に相応しい施設及び整備が整えられているか	A
10-2	施設及び設備の管理、保全のための体制が整えられているか	A
10-3	情報システム化等、業務の効率化が図られているか	A
<p>【現状・具体的な取り組み/課題】</p> <p>施設・設備の保全には維持管理会社と提携し、年間を通して改善を行っている。 教務の業務は学生管理システムを使用し、スムーズに行っている。又、校内放送ができるよう電話回線等の改修工事を行い、一斉に同じ内容の情報を伝えることが可能になった（校長よる連絡、注意事項等）。</p>		
11. 地域貢献・社会活動		
点検・評価項目		評価
11-1	留学生が地域に馴染めるような活動をしているか	B
11-2	行政・各種機関、事業所等に対し、留学生理解を深めてもらう活動を行っているか	A
11-3	地域の小中高等の教育機関の国際理解教育活動に参加しているか	A
11-4	地域の日本語教育に関わる活動をしているか	A
<p>【現状・具体的な取り組み/課題】</p> <p>地域に馴染める活動としては、寮と学校周辺のゴミ拾い活動しか行えず（しかし地域の方からは好評を得た）今後は、生徒が地域住民の方と一緒に活動を企画していかなければならない。 日本語教師養成講座運営機関に、新入生入国時の手続きサポートアルバイトを依頼したのだが、アルバイト終了後も様々な相談に乗ったり（教壇実習等）交流を続けてきた。結果、全員が現在日本語教員として活躍している。</p>		
12. 財務		
点検・評価項目		評価
12-1	財務状況は、中長期的に安定しているか	A
12-2	予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか	A
12-3	適切な会計監査が実施されているか	A
<p>【現状・具体的な取り組み/課題】</p> <p>しっかりと在籍管理を行った結果、順調に生徒募集が行えており、財務状況は安定している。会計監査もしっかりと行われている。</p>		